



令和2年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年6月5日

上場会社名 株式会社 メディアシーク
コード番号 4824 URL <https://www.mediaseek.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 令和2年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年7月期第3四半期の連結業績(令和元年8月1日～令和2年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年7月期第3四半期	1,691	23.5	21		109		48	
元年7月期第3四半期	1,369	26.6	86		52		72	

(注) 包括利益 2年7月期第3四半期 463百万円 (%) 元年7月期第3四半期 71百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年7月期第3四半期	4.96	4.95
元年7月期第3四半期	7.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年7月期第3四半期	4,595	3,213	67.6	318.87
元年7月期	3,675	2,665	71.1	268.09

(参考) 自己資本 2年7月期第3四半期 3,106百万円 元年7月期 2,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年7月期		0.00		0.00	0.00
2年7月期		0.00			
2年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年7月期の連結業績予想(令和元年8月1日～令和2年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,258	21.7	29		45		2		0.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年7月期3Q	9,766,800 株	元年7月期	9,766,800 株
期末自己株式数	2年7月期3Q	23,345 株	元年7月期	23,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年7月期3Q	9,743,455 株	元年7月期3Q	9,743,481 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な政治・経済環境の変動により日本経済全般の中長期的な見通しについて引き続き先行き不透明な状況が続いております。新型コロナウイルス感染症拡大による国内経済環境の変化により、法人事業においては、主な顧客であります国内法人企業において、予定していたシステム開発プロジェクトの規模縮小や計画内容の変更・見直し等が発生し、当社グループが提供するシステムコンサルティング業務における事業環境にも変化が生じております。また、コンシューマー事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による国内広告市場への影響から、インターネット広告における広告出稿が減少傾向となる等、広告ビジネス全般における事業環境に少なからぬ変化が生じております。

当社グループは、法人事業において、RPA(ロボットによる業務自動化)等各種企業向けツール導入のほか、主に国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。コンシューマー事業においては、累計3,100万ダウンロードを達成したスマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」を中心としたスマートフォン向け広告収入のほか、スマートフォン向けゲーム等各種情報サービスによる売上を計上しました。なお、研究開発活動は、第1四半期連結累計期間より専属の研究開発部門を廃止しており、法人事業及びコンシューマー事業の通常の活動内で継続的に実施する体制となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,691,534千円(前年同期比23.5%増)、営業利益は、21,314千円(前年同期は、86,826千円の営業損失)、経常利益は、109,156千円(前年同期は、52,502千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、48,333千円(前年同期は、72,989千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

(法人事業)

法人事業においては、RPA(ロボットによる業務自動化)等各種企業向けツール導入のほか、主に国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,384,562千円(前年同期比24.6%増)、セグメント利益は、122,061千円(前年同期比239.5%増)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、累計3,100万ダウンロードを達成したスマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」を中心としたスマートフォン向け広告収入のほか、スマートフォン向け恋愛シミュレーションゲームなど各種情報サービスによる売上を計上しました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、306,972千円(前年同期比18.7%増)、セグメント利益は、51,852千円(前年同期比39.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

資産の総額は、4,595,662千円(前連結会計年度末比25.0%増)です。

流動資産は、総資産の29.7%に相当する1,366,914千円(前連結会計年度末比19.0%増)です。流動資産の前連結会計年度末からの増加額は、218,468千円となっておりますが、この主要因は、流動資産のその他に含まれる預け金が28,733千円減少した一方で、現金及び預金が217,317千円増加したことによるものです。また、現金及び預金の残高は、825,433千円(前連結会計年度末比35.7%増)となっており、流動資産の大きな割合を占めております。

固定資産は、総資産の70.3%に相当する3,228,748千円(前連結会計年度末比27.7%増)です。

有形固定資産は、総資産の1.1%に相当する49,089千円(前連結会計年度末比2.6%増)、無形固定資産は、総資産の0.1%未満に相当する1,132千円(前連結会計年度末比35.0%減)であり、いずれも僅少な割合となっております。

投資その他の資産は、総資産の69.2%に相当する3,178,526千円(前連結会計年度末比28.3%増)です。増加の主要因は、投資有価証券が時価の上昇等により699,913千円増加したことによるものです。投資その他の資産のその

他の内訳として、長期滞留債権が26,727千円計上されておりますが、全額に相当する26,727千円について貸倒引当金が計上済みであるため、貸倒れの確定による多額の追加損失発生の恐れはありません。また、投資有価証券が3,061,014千円計上されておりますが、このうち2,958,250千円は時価を有する性質のものです。

②負債の部

負債の総額は、負債純資産合計の30.1%に相当する1,381,991千円(前連結会計年度末比36.8%増)です。

流動負債は、負債純資産合計の10.0%に相当する459,911千円(前連結会計年度末比32.2%増)となっております。流動負債の前連結会計年度末からの増加額は、112,014千円となっておりますが、この主要因は、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が32,030千円増加したこと、未払法人税等が25,817千円増加したこと及び買掛金が20,861千円増加したことによるものです。

固定負債は、負債純資産合計の20.1%に相当する922,079千円(前連結会計年度末比39.2%増)となっております。前連結会計年度末からの増加額は、259,895千円となっておりますが、この主要因は、保有する投資有価証券の時価が上昇したこと等により繰延税金負債が164,837千円増加したこと及び売上高の増加に伴う運転資金の増加に対応するため長期借入金が94,782千円増加したことによるものです。

③純資産の部

純資産の総額は、3,213,670千円(前連結会計年度末比20.5%増)であり、自己資本比率は、67.6%と高い水準を維持しております。純資産の前連結会計年度末からの増加額は、547,791千円となっておりますが、この主要因は、保有する投資有価証券の時価が上昇したこと等によりその他有価証券評価差額金が373,494千円増加したこと、連結子会社の株式の一部を売却したことにより資本剰余金が72,740千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が48,333千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、令和元年9月6日公表の業績予想の数値を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想に様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	608,116	825,433
売掛金	300,435	292,999
商品	3,098	5,724
仕掛品	6,658	30,094
その他のたな卸資産	4,460	3,807
その他	226,297	209,612
貸倒引当金	△621	△756
流動資産合計	1,148,445	1,366,914
固定資産		
有形固定資産	47,832	49,089
無形固定資産		
その他	1,743	1,132
無形固定資産合計	1,743	1,132
投資その他の資産		
投資有価証券	2,361,101	3,061,014
その他	143,488	144,239
貸倒引当金	△26,650	△26,727
投資その他の資産合計	2,477,939	3,178,526
固定資産合計	2,527,514	3,228,748
資産合計	3,675,960	4,595,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,672	69,533
短期借入金	30,000	47,000
1年内返済予定の長期借入金	135,511	146,518
未払法人税等	9,204	35,022
賞与引当金	25,759	19,064
受注損失引当金	1,134	—
その他	97,616	142,773
流動負債合計	347,897	459,911
固定負債		
長期借入金	146,825	241,607
資産除去債務	36,798	37,074
繰延税金負債	478,560	643,398
固定負債合計	662,184	922,079
負債合計	1,010,082	1,381,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,267	823,267
資本剰余金	954,521	1,027,261
利益剰余金	△209,401	△161,067
自己株式	△39,724	△39,724
株主資本合計	1,528,662	1,649,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,084,341	1,457,836
為替換算調整勘定	△881	△688
その他の包括利益累計額合計	1,083,460	1,457,148
新株予約権	3,313	3,313
非支配株主持分	50,442	103,473
純資産合計	2,665,878	3,213,670
負債純資産合計	3,675,960	4,595,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年8月1日 至令和2年4月30日)
売上高	1,369,516	1,691,534
売上原価	1,085,586	1,285,001
売上総利益	283,929	406,533
販売費及び一般管理費	370,755	385,219
営業利益又は営業損失(△)	△86,826	21,314
営業外収益		
受取利息	18,444	18,319
受取配当金	9,126	5,484
投資有価証券売却益	14,400	93,772
その他	1,990	12,808
営業外収益合計	43,961	130,385
営業外費用		
支払利息	3,788	3,522
投資有価証券売却損	—	33,026
投資有価証券評価損	4,516	—
その他	1,333	5,993
営業外費用合計	9,638	42,542
経常利益又は経常損失(△)	△52,502	109,156
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	268	88
事務所移転費用	510	—
特別損失合計	778	88
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,281	109,070
法人税、住民税及び事業税	2,700	19,434
法人税等調整額	1,833	—
法人税等合計	4,534	19,434
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,815	89,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,173	41,302
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,989	48,333

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年8月1日 至令和2年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,815	89,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,192	373,494
為替換算調整勘定	△448	46
その他の包括利益合計	△13,640	373,540
四半期包括利益	△71,456	463,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,405	422,021
非支配株主に係る四半期包括利益	14,948	41,155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成30年8月1日 至 平成31年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシュー マー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,110,941	258,548	1,369,489	26	1,369,516	—	1,369,516
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,110,941	258,548	1,369,489	26	1,369,516	—	1,369,516
セグメント利益又は 損失(△)	35,949	37,102	73,051	△16,531	56,520	△143,346	△86,826

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和元年8月1日 至 令和2年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシュー マー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,384,562	306,972	1,691,534	—	1,691,534	—	1,691,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,384,562	306,972	1,691,534	—	1,691,534	—	1,691,534
セグメント利益	122,061	51,852	173,913	—	173,913	△152,599	21,314

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等でありましたが、第1四半期連結累計期間より専属の研究開発部門を廃止しております。なお、研究開発活動は、報告セグメントである法人事業及びコンシューマー事業の通常の活動内で継続的に実施しております。

2 セグメント利益の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。